

<お知らせ情報（C情報）に至らないごく軽度な機器故障>（月報）

（機器の故障に起因する不適合事項（軽微なもの））

2025年7月分（1月31日現在）

No.	発生日	設 備	概 要	処置状況	発生場所
1	2025.7.6	海水熱交換器建屋換気空調系設備（海水熱交換器建屋の環境を適切にするための空調設備）	<p>海水熱交換器建屋換気空調系設備において、防火ダンパ※<sup>1</sup>の5枚の羽根のうち1枚について、温度ヒューズ※<sup>2</sup>が切れて、羽根が閉まる事象が発生した。このため、当該の温度ヒューズを交換し復旧した。その後、別の1枚の羽根の温度ヒューズが切れて、羽根が閉まる事象が発生したことから、同様に温度ヒューズを交換し復旧した。</p> <p>本事象を受けて、残りの3枚の羽根の温度ヒューズも新品に交換した。原因を調査中である。</p> <p>なお、当該の防火ダンパについて、1枚羽根が閉じた状態でも空調の運転に影響はなく、プラントへの影響はない。</p> <p>※1 火災時に炎が換気空調設備を経由して、他のエリアに延焼するのを防ぐための装置</p> <p>※2 一定の温度になると切れて羽根を閉じる安全装置</p>	復旧済み	海水熱交換器建屋
2	2025.7.25	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系設備（非常用電源を供給するための発電設備に燃料の軽油を移送する設備）	<p>3系統ある非常用ディーゼル発電設備の1系統において、屋外の軽油を移送する配管に設置された弁を点検する際、弁のヨーク部※が損傷していることを確認したため、当該弁のヨーク部の取替を実施し、弁の機能に異常がないことを確認した。</p> <p>原因調査の結果、塩害影響による塗装の劣化によってヨーク部の腐食減肉が進行したこと、また点検に伴って当該弁を操作した際には応力が作用することから、これらの要因によって損傷したものと推定した。</p> <p>再発防止対策として、パトロールによる監視強化と定期的な塗装を実施することをパトロールチェックシートおよび工事仕様書に反映した。</p> <p>※駆動部と弁棒を支持・接続するための部品</p>	処置済み	屋外

- ・「不適合」とは、要求事項を満たしていない状態をいいます。

※処置状況欄記載の「対応中」、「補修済み・取替済み・復旧済み」、「処置済み」については、以下の状況をいいます。

- ・対応中 : 要求事項を満足する状態に復旧中です。
  - ・補修済み・取替済み・復旧済み : 要求事項を満足する状態に復旧済みです。  
今後、原因調査、対策等を講じます。
  - ・処置済み : 要求事項を満足する状態に復旧し、原因調査、対策等を実施済みです。  
なお、今後、水平展開について検討・対応します。
- 
- ・今月の更新箇所は下線で示しています。